

実施概要

課題趣旨

つながる家、つながるまち

「2023年度〔第13期〕まちなみ塾」は、持続可能かつ付加価値の高いまちなみ形成事業に関する総合カリキュラムとして、演習を主体としたリアリティーを追求する内容として実施します。

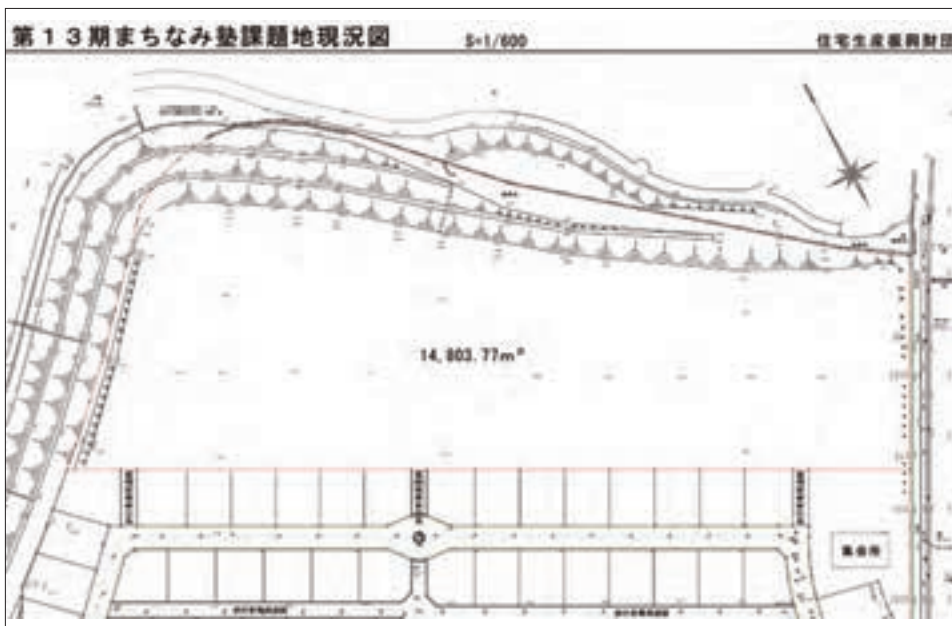
八王子市・みなみ野シティにおいて、一般財団法人 住宅生産振興財団(以下、財団)の事業用宅地を課題地とし、財団が過去に、まちなみ事業として多くの先進的なコーディネートを行ったスキームを参考に、テレワークやフレックス勤務等による行動変容に応じた生活空間の再編や、多世代居住の住宅地計画ならびに、持続可能な地域コミュニティの形成について、模擬事業として展開します。

演習課題の目的は、在宅時間の増加やネットワーク活用による多様なコミュニティのあり方に対する考察と、多世代が暮らす持続性のある魅力と価値、景観や住環境を備えた計画の提案にあります。

住まい手が、自ら暮らす地域に関心を持ち、共感できる魅力や付加価値を提案すると同時に、良好な住環境と住民の自治意思の醸成によって、持続可能な住宅地の形成に資する新たな視点を求めます。

演習では、現地ならびに周辺地域の状況把握から、市場調査、事業計画、土木・建築・外構設計、許認可、施工、販売、コミュニティ形成、維持管理プログラムまでのプロセスを、総合的に学びます。

現実と理想、コストと魅力、規制と個性、戸建てと集住、住居と非住居、専有と共有、維持と更新、こうした対をなす概念と折り合いをつけて「ここで暮らしたい」と思っただけのまちなみや住環境をいかに提案するのか。日常では専門外となる業務分野にも果敢に挑戦する、能動的な行動の積み重ねから得た新たな気づきが、皆さん一人ひとりを大きく成長させることでしょう。



演習課題・敷地平面図



まちなみ視察(フォレストステージ高幡鹿島台)



設計演習最終発表



設計演習現地確認



設計演習グループ分け



修了式